

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービスらびっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			静養室やクールダウンできる静かな部屋が多くあると良い。
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	階段に手すりを設置している。	段差があるので改善していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	毎月2回の評価会議の実施。	引き続き実施していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			いただいた意見をもとにサービスの充実と改善を行っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			自己評価はホームページにて閲覧できます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	外部評価を受けている。	職員間に周知されるよう回覧で確認できるようにします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		年に8回施設内研修に参加している。	研修内容を重視してスキルアップできる研修をしていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		アセスメントを基に個別支援計画を作成している。	保護者に分かりやすい内容で計画していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2		アセスメントツールを精査し適切な基準になるようにします。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	行事予定を立てて取り組んでいる。	施設内での会議をしてからプログラムを行事予定と合わせて企画しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		療育の変更等を行っている。	療育活動が固定化しないように毎週変更していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	個々に合わせた学習や療育を行っている。	集団療育など利用時間に応じて設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎日振り返りを行っている。	ミーティング、役割の確認を徹底して実施しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		時間を決めて振り返りを行っている。	支援終了後ではなく、翌日に話す。すぐに伝えなければいけないことは、すぐに職員間で話をするようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		気になった事等、記録している。	提供記録や振り返りノートに記録し、支援の改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		定期的にモニタリングを実施、記録している。	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		児童発達支援管理責任者やリーダー、担当者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	学校からの予定表を基に作成している。	学校との情報交換、共有をしています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		現在利用がない為、連携できる体制を整備します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	利用者が通っていた保育園、幼稚園との情報共有をしている。	引き続き実施していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3		移行支援の対象がいないので、未実施。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	7回講習会(研修)が行われた。	研修を連携して継続していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		公園施設利用や放課後児童クラブとの交流を計画していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		協議会が未開催の為、開催されるよう呼び掛けていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	2	LINEやSNSで連絡を取り合っている。	引き続き実施していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		ペアレントトレーニング未実施だったのでサービス向上を目指して取り組みます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	3		契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	ライン、電話で対応している。	お迎え時のささいな時間等でも情報共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		夏まつりなどの行事や保護者会を実施していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情受付担当者を設置し、情報収集と対策チームを迅速に立ち上げ、解決できる環境を整備しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	ラインや手紙等で発信している。	引き続き実施していきます。
	35	個人情報に十分注意している	4		書類は鍵付書庫に保管している。	職員には守秘義務を遵守する旨の誓約書を交わしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		ラインや電話でその都度対応。	引き続き実施していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		未実施の為、開催できるように計画していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		4		BCPを策定し施設内でマニュアルの確認を会議で実施しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		月1回、避難訓練を行っている。	引き続き実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	3		虐待防止の研修を月1回実施します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		4		身体拘束は行いません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	保護者と情報共有し対応している。	施設内職員室に貼り出し確認できる環境を整備しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		4		危険予知活動を実施しています。